

「使用上の注意」の改訂に関するお知らせ

2025年10月-11月

深在性真菌症治療剤

日本薬局方 **ボリコナゾール錠**

ボリコナゾール錠 50mg「JG」

ボリコナゾール錠 100mg「JG」

ボリコナゾール錠 200mg「JG」

Voriconazole Tablets

製造販売元 日本ジェネリック株式会社

このたび、上記の弊社製品につきまして、「使用上の注意」の一部を改訂いたしました。ご使用に際しましては、改訂後の各項を十分ご参照くださいますようお願い申し上げます。

また、今後とも弊社製品のご使用に当たって、副作用等の治療上好ましくない事象をご経験の際には、弊社までできるだけ速やかにご連絡くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

1. 改訂内容

- 相互作用相手薬記載との整合のため、以下のとおり自主改訂いたしました。
 - ✓「禁忌」及び「併用禁忌」の項に「マバカムテン（カムザイオス）」を追加いたしました。

2. 改訂内容(抜粋)

(改訂箇所：_____部)

改 訂 後	改 訂 前																					
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スボレキサント、リバーロキサパン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、アナモレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エプレレノン、ボクロスボリン、マバカムテン [10.1 参照] 2.2 - 2.3 〈変更なし〉	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 次の薬剤を投与中の患者：リファンピシン、リファブチン、エファビレンツ、リトナビル、ロピナビル・リトナビル、ニルマトレルビル・リトナビル、カルバマゼピン、バルビタール、フェノバルビタール、ピモジド、キニジン、イバブラジン、麦角アルカロイド（エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、エルゴメトリン、メチルエルゴメトリン）、トリアゾラム、チカグレロル、アスナプレビル、ロミタピド、プロナンセリン、スボレキサント、リバーロキサパン、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ベネトクラクス（再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期）、アナモレリン、ルラシドン、イサブコナゾニウム、フィネレノン、エプレレノン、ボクロスボリン [10.1 参照] 2.2 - 2.3 〈省略〉																					
10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと) <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">〈変更なし〉</td></tr><tr><td>ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]</td><td>〈変更なし〉</td><td>〈変更なし〉</td></tr><tr><td>マバカムテン （カムザイオス） [2.1 参照]</td><td>本剤との併用により、マバカムテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強され、収縮機能障害による心不全のリスクが高まるおそれがある。</td><td>本剤はマバカムテンの代謝酵素（CYP3A4）を阻害する。</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈変更なし〉			ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]	〈変更なし〉	〈変更なし〉	マバカムテン （カムザイオス） [2.1 参照]	本剤との併用により、マバカムテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強され、収縮機能障害による心不全のリスクが高まるおそれがある。	本剤はマバカムテンの代謝酵素（CYP3A4）を阻害する。	10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと) <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td colspan="3">〈省略〉</td></tr><tr><td>ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]</td><td>〈省略〉</td><td>〈省略〉</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	〈省略〉			ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]	〈省略〉	〈省略〉
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
〈変更なし〉																						
ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]	〈変更なし〉	〈変更なし〉																				
マバカムテン （カムザイオス） [2.1 参照]	本剤との併用により、マバカムテンの血中濃度が上昇し、副作用が増強され、収縮機能障害による心不全のリスクが高まるおそれがある。	本剤はマバカムテンの代謝酵素（CYP3A4）を阻害する。																				
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																				
〈省略〉																						
ボクロスボリン （ルプキネス） [2.1 参照]	〈省略〉	〈省略〉																				

(2025年10月改訂)

3. DSU掲載

使用上の注意改訂情報は、2025年11月発行の「医薬品安全対策情報 (DSU) No.340」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- ・日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
 - ・医薬品医療機器総合機構ホームページ(<https://www.pmda.go.jp/>)
 - ・「添文ナビ®」にて個装箱等に表示のGS1バーコードを読み取る。
- 「添文ナビ®」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部 TEL：03-6684-2467

ボリコナゾール錠「JG」



(01)14987792611344

J20250019